

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 3 月 26 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103676		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい本浦		
所在地	広島県広島市南区本浦町27番18号 (電話)		
自己評価作成日	平成30年2月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103676-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>静かな団地の中にある当ホームは、開設し15年目を迎えました。 地域の皆様に支えられながら、毎日生活しています。 日中・夜間、看護師を配置し終末ケアにも力を入れています。 毎日笑顔で個々の個性を大事にし、利用者様・スタッフと協力し生き生きと暮らせるよう支援しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者と職員が共に笑顔で過ごせるように取り組み、利用者の要望をよく聞き対応している。利用者が生き生きと過ごせるように食事の準備・掃除・花の世話を一緒に行っている。室内に閉じこもらず出来るだけ買い物や散歩に出かけるようにし、地域の人とふれあう機会を設けている。理念の中の「地域に密着したホームを目指す」では、町内会に加入し役員を引き受け、町内清掃にも協力している。また地域行事や「いきいきサロン」にも参加し地域住民と交流している。「食事は大事である」と考え、天然素材で出汁を作り、職員手作りの食事を提供している。利用者・家族の要望があれば看取りを行う方針であり、医療依存度が高い利用者の為に夜間に看護師が常駐している。今までに多くの看取り事例がある。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域に密着したホームを目指す」を理念に掲げている。 毎日唱和し、取り組んでいる。	会社理念は、毎日唱和し職員と共有している。会社理念の中で「地域に密着したホームを目指す」を重視し、実践している。	理念をサービス提供へと実践しているが、実施状況を振り返り評価することも重要であると考えます。今後は、年度末に実施状況を評価し、より良いサービス提供に繋げることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入している。 月1回のサロンや、行事に参加し、交流している。毎日町内を散歩している。	町内会に加入し町内会の役員を引き受け、町内清掃にも協力している。町内会と地域包括支援センターが共同で開催する「いきいきサロン」に参加し、体操や食事を楽しんでいる。また敬老会や夏祭りなどの地域行事にも参加し地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	民生委員さんを通して、相談があったり訪問される事もあり、その都度お話を聞きアドバイスしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1回開催し、利用者様の状況等を報告し意見交換している。	地域住民代表として町内会長と民生委員、地域包括支援センター、利用者が参加して定期的に運営推進会議が開催され意見交換している。事業所で実施したターミナルケアについて説明することもある。現状では家族の参加はないが、家族参加に向けての対策を検討中である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協働関係を築くように取り組んでいる。	消防署、地域包括支援センター等と連携を図り、取り組んでいる。	運営推進会議に地域包括支援センター職員が参加し、利用者の受け入れ・職員採用について意見交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム全体で拘束しないケアに取り組んでいる。日中は、玄関の鍵・電子錠は開けている。</p>	<p>身体拘束に関して、年1回、職員研修を行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。行動抑制するような言動にも注意を払い、点滴中は腕を固定せず、職員が手を握り見守っている。玄関は、日中は施錠せず利用者は自由に出入りすることができる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全員が注意し合い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修や会議で学び、必要時上司に報告相談し、支援につなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時を利用し聞いている。又、窓口は明確にし要望があればその都度対応している。</p>	<p>家族が面会に来られた時、敬老会・花見などの行事に参加された際に家族の要望を聞いている。また、玄関には「意見箱」を設置している。利用者に対する個人的な要望については、すぐに対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃より聞くようにしている。月2回の管理者会議で要望を検討し、意見を反映できるようにしている。</p>	<p>職員会議や申し送りの際に職員の意見を聞き、職員が元気がない時には、積極的に声掛けし職員の話の聞いている。職員会議で提案された意見は管理者会議で報告している。職員の負担を軽減する為に、利用者の状況に応じて勤務終了時間を調整している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年1回昇給がある。個々にあった役割を与え、やりがいにつなげている。資格取得にはお祝い金がある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>個々にあった研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>グループホーム協会の研修等に参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に面接を行い、細かく聞いている。入居後は関わりを多く持ち、関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	入居前に細かく聞いている。面会時を利用しお話しをするようにしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	しっかりお話を聞き、検討し他のサービスもある事を伝え、本人にあったサービス提供を支援している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	出来る範囲で一緒に行き、楽しんだり、悩んだり共生の気持ちを忘れずに関係を作っている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	面会時には細かくお話をしている。毎月1カ月の様子をお手紙に書き送付している。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	希望の美容院へ出かけたり、可能な限り支援している。	今まで利用していた美容院・理容院、通院していた診療所に職員が同行している。また、法事や墓参り、結婚式に同行することもあり馴染みの関係を継続する支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	リビングの席は相性に合わせて決めている。1階・2階を日中は行き来できるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用が終了しても、必要時に相談や支援をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に希望を聞いている。買い物に出かけたりしている。困難な方には家族に要望を聞いている。	日常生活の中で把握した利用者の意向は管理者に報告している。その後、ケアプランに取り入れて意向を実現するようにしている。手芸が好きな利用者は、材料を揃えて作品を作り、外出希望者は定期的に買い物に出かけるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に細かく聞いている。入居後も関係を作り、聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	午後は居室で休まれたり、職員と一緒に買い物にでかけたり、個々にあった過ごし方をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>課題を明確にし、本人・家族の意見を聞き介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決めている。ケアプランのモニタリングは、担当者の意見を聞き、計画作成者が作成している。その後、家族の意見を聞き、ケアカンファレンスでは、職員・看護師・医師の意見を反映してケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌に細かく言動や行動等を記入している。変化時には申し送りノートへ記入し、情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じて検討し、他事業所と連携し取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>自宅に外出・外泊されたり、一人ひとりにあった支援をしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医の往診を1週間に1回受けて頂いている。歯科等、他の医療機関受診時には、同行している。</p>	<p>利用者・家族の要望を聞き、かかりつけ医を決めている。今まで受診していた医師を引き続き受診する利用者もいる。また、事業所の協力医は、定期的に往診し、利用者全員の健康状態を把握している。利用者の体調不良時は看護師に報告し、その後医師に連絡して対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>入浴時に全身状態を観察し、日々の気づき等を看護師に報告している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には様子を見に行き、看護師と情報交換している。食事介助や洗濯物など必要時に支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に終末期の希望を聞いている。状態変化時には、医師を含め話し合い方針を決めている。</p>	<p>利用者・家族の要望があれば看取りを行う方針である。重度化した際には、医師が病状の説明を行い、家族の意向を確認して支援方法を決定し実施している。医療依存度が高い利用者の為に、夜間に看護師が常駐している。今までに多くの看取り事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修を通し学んでいる。マニュアルを作成している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回訓練をしている。災害時には町内会長さんから応援依頼して頂けるようになっている。</p>	<p>年2回避難訓練を行うが、その際には実際に利用者も参加し近隣の避難所に避難する。訓練後は反省会を行い、「介護度が高い利用者も含めて利用者全員が参加する必要がある」との意見が出され、今後、実施する予定である。災害時には、町内会長に連絡し近隣住民が協力する体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	優しい気持ちで声掛けをするようにしている。	「人格尊重・プライバシー」に関する社内研修が年1回行われる。人格を尊重し幼児言葉での声掛けをしない、部屋でのオムツ交換やトイレ介助では、ドアを閉めることを徹底している。利用者の意向を確認し、顔写真掲載や居室の名札を表示するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	水分補給時の飲み物を決めて頂いたり、自己決定出来るように、お声かけしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	居室でゆっくりお話をされたり、可能な限り希望に添えるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出行事時には、化粧をしたり顔の毛剃をしている。買い物に同行し一緒に服を選んだり支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生日にはお好きなメニューを提供している。メニューは決まっているが、要望に合わせて変更したりしている。	管理栄養士により献立は作成されているが、利用者の要望などにより随時変更して食事を提供している。誕生会では利用者の好きな食事を提供し、時にはホットケーキなどを一緒に作ることもある。利用者の体調に応じて提供できるように予備食材を準備している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>病気等に考慮し，お茶碗の大きさを決めている。捕食したりエンシュア等で補っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアしている。経口摂取が難しい方には、2～3時間おきにハミングッド使用し口腔ケアをしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中は個々にあった時間にトイレ誘導している。夜間はポータブルトイレを使用したり，トイレ誘導している。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。日中は、布パンツやリハビリパンツにパットを着用し、トイレへ誘導している。夜間のみオムツを使用する利用者もいるが、夜間でもトイレやポータブルトイレで排泄を行うよう取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝牛乳を飲用して頂いたり，日中に散歩や体操等で身体を動かして頂いて、予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日、お風呂は準備している。週3回入浴して頂き、希望があれば毎日入浴して頂いている。</p>	<p>週3回は入浴するようにし、夏場は毎日シャワー浴を行う利用者もいる。利用者の要望があれば毎日入浴も可能で、職員の見守りで毎日入浴する利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	午後、2時間程度居室にて休んで頂いたり、夜間良眠できるようにしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	医療ノートへ細かく記入しわかりやすくしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	料理や掃除・洗濯たたみ等、個々にあった役割を持ち、職員と一緒にしている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	月1～2回ドライブに出かけたり、可能な限り外出支援している。	室内に閉じこもらず、出来るだけ散歩や買い物外出を行うようにしている。月に1～2回、海の見える場所へドライブすることもあり、花見で遠出することもある。その際には介護度の高い利用者も参加している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	家族と相談し、金額を決めお金を持たれている方もいる。手元金を預かり必要時に使用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	子機を使用しゆっくり電話できるようにしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の作品、飾りをしている。強い日差しにはカーテンを利用し調節している。	利用者による「書き初め」の作品や職員と一緒に作った季節の飾りが掲示してある。不快な臭いにも十分に配慮している。利用者も一緒に掃除することもあり、清潔に保つように心がけている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	ソファは2か所設置している。椅子に座ったり、ソファに座ったりして過ごされている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具を持参して頂き、一緒に居室作りをしている。	使い慣れたタンスや鏡台などを持参したり、仏壇や家族の位牌や遺影を居室に置いている利用者もある。利用者はそれぞれ居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	居室にはネームプレートを作成し設置している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい本浦

作成日 平成30年4月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の強化	地域との相互協力ができる	運営推進会議で話し合う	1年
			災害時の安全な避難ができる	水害・地震時の非難訓練を強化する	1年
2	4	運営推進会議の出席者に変化がない	運営推進会議の出席者を多様化する	出入りのお店屋さん、町内会、生活課、近隣の方々に意見や思いを聴かせて頂く	1年
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。